

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

## 改めて統括センター化・融合化への反対の声を集めよう



### 乗務員を「片手間扱い」するな

会社は、業務融合化やジョブローテーション、運転士と車掌の込み運用、駅業務との兼務などを進めてきました。また、千葉支社においても6月1日から乗務員による車いす対応を開始すると発表され、職場での訓練も行われています。

会社は「多様な経験を」「鉄道ありきで考えるな」「これからは価値創造だ」などといった攻撃を進めてきました。しかし、乗務員は列車の運行と安全を守る仕事であり、鉄道にとって最も中心をなす職種です。その乗務員の仕事を「片手間」のように扱うなんて許せません。

ジョブローテーションは「社員自ら主体的にキャリアを描く」といつて開始されましたが、完全に建前でした。実態は「最大10年で次々に強制配転」という制度です。こん

な制度は廃止以外にありません。

乗務員による車いす対応も会社が駅の無人化を進めなければ発生しなかった問題です。

会社が鉄道の現場の業務をどこまでも軽視して、現場労働者をないがしろにする施策の中で、休職や「自己都合」退職に追い込まれる人が急増しています。

こんな職場のあり方をさらに進めるなど、とても認められません。同時にこれは技術継承と安全の崩壊に直結する重大な問題です。

### 改めて団結して声をあげよう

会社の攻撃を打ち破るための何よりの力は団結すること、闘う労働組合の力を職場に取り戻すことです。

現状への怒りや不安が、「こんな制度はいらない!」「廃止を!」という現場からの声と行動になることを、会社は何よりおそれています。どんなに技術が発展しても、現場労働者抜きで鉄道を運行し、安全を守ることはできません。

「反対」の声をあげるためにも、職場の怒りの声を集めて団結して行動にたつためにも、職場に必要なのは労働組合の力です。

改めて、動労千葉とともに職場から業務融合化・統括センター化、ジョブローテーション、職名廃止の撤回を訴えて声をあげよう。